

SDGs検定ラリー

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎集団行動・規律 ◎課題克服・達成感 ◎阿蘇の自然に親しむ 文化に親しむ ◎仲間づくり・協調性

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

③ 多面的・総合的に考える力

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度

2 活動の詳細


概要 (セールスポイント)	マップの目印にSDGsに関する問題を探しだし、検定問題に答えます。交流の家が取り組むSDGsや熊本県、阿蘇市を題材としたSDGsに関する問題を解くとともに、自分達ができる取組について考えたりします。 また、単に問題を解くだけでなく、各班の考えを発表し合ったり、自分達で課題提起をしたりしながらSDGsについて考えることができます。									
	実施形態	自主活動 (夜間実施は不可)			提出書類	不要				
諸条件	必要経費	なし			所要時間	導入、説明：15分 (研修室内) 活動：60～90分 (館内) ふりかえり：30～60分 (研修室内)				
	活動場所	交流の家館内、研修室			対象・人数	小学生高学年以上・100人程度				
	事前下見	不要	実施時期	通年	天候	天候に関わらず実施可能				
	準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物 ・バインダー				団体が準備する物 ・SDGs検定ラリーのマップ、解答用紙 ・SDGs検定ラリーの解答・ふりかえり例 ・筆記用具				
役割分担	交流の家職員が行うこと				団体引率者が行うこと					
	①物品の貸出 ②団体引率者への説明(30分前までに)活動の意義、ルール、諸注意 ③物品の返却受取				1) 職員から物品を借用する。 2) ルール説明や諸注意を受ける。 3) 研修生へルールや終了時間、集合場所等を説明する。 4) 活動(立哨または巡回) 5) 答え合わせ、ふりかえり 6) 得点集計、結果発表、後片付け 7) 物品の返却					

3 活動のふりかえりのポイント【別紙「SDGsウォークラリー解答・ふりかえり例」参照】

視点：「身近な生活の中でどんなSDGsへの取組があるのか」「自分ができるSDGsへの取組はどんなものか」

発問例：別紙参照

4 SDGsで目指す姿

	17の目標それぞれについて考え、自ら疑問を持つとともに課題提起をし、目標達成に向けた意識や考えを持つことができる。
--	---

5 その他(団体の引率者の皆様へ)

- 単独で行動せず、必ずグループでそろって行動するよう、また、走らないよう指導してください。
- 宿泊室や研修室、レストラン、体育館などには入らないようにしましょう。
- 玄関や渡り廊下などには出てもよいですが、屋根のない外には行かないようにしましょう。

SDGs検定ラリーの手引き

(1) 地図の●印の場所に行って、次のような問題を探し、問題の答え(三択)を考え、解答用紙に番号を記載する。(全20問×2点=40点) ※問題には全て、SDGsのアイコンが付いています。

【問題例】



じぞくかのう ちくさん
持続可能な畜産

あ そこうりゅう いえ まわ そうげん ひろ
阿蘇交流の家の周りには、草原が広がっています。

そして、その草原にはたくさんの牛がいます。(放牧期間4月～12月)

この牛たちは、私たち人間が食べるために飼われています。

牛たちの草原を守ることは、私たち人間の「食」を守ることにつながります。

なんと!この牛たちは1日に40～50kgの草を食べるそうですよ!

Q. 3 (アドバイス : 写真の牛の色がヒントです。)

あ そこうりゅう いえ まわ そうげん うし なん ひんしゅ
阿蘇交流の家の周りの草原にいる牛は何という品種でしょう?

- ① あか牛 ② あお牛 ③ ちゃ牛



(2) この他、「ジェンダー平等」に関する身近な問題や「節水」の工夫などについて、班で考えたことを自由に記述する問題があるので、解答用紙に記載する。(全6問×10点=60点)

(3) 引率者が注意すべき事項(子供達に指導する事項)

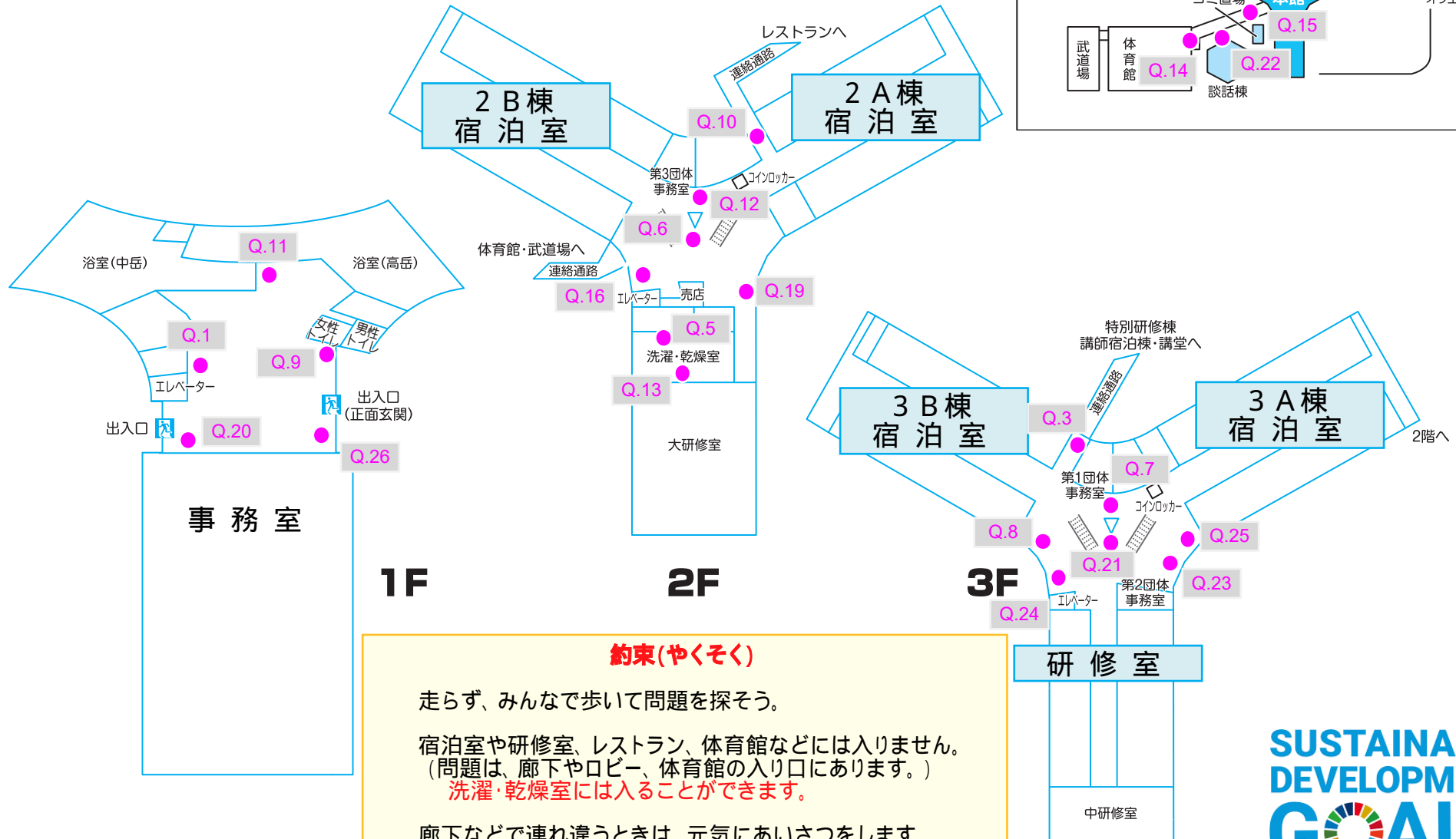
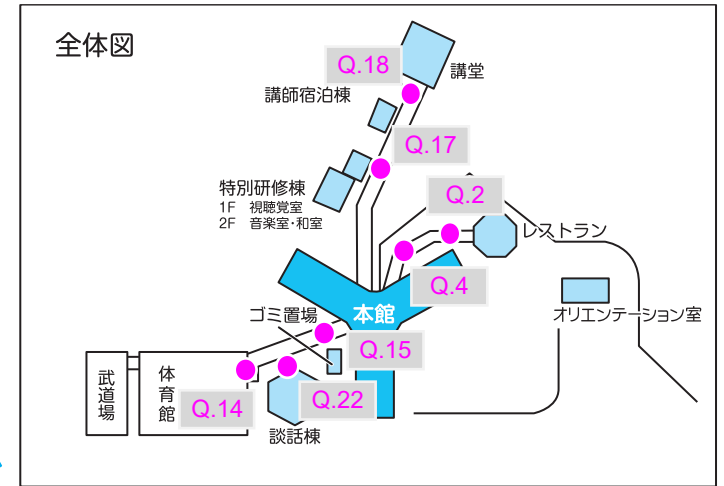
- 必ずグループ・班で行動する。
- メンバー全員で問題の回答に取り組む。
- 活動中は走らず、歩いて問題を探す。
- 研修室や宿泊室、レストラン、体育館などの中には入らないようにする。
(体育館、講堂、レストランの入口前の自動ドアまでは活動可能。入り口付近にも問題を掲示。)
- 他の団体が研修室を利用している際は、引率者が付近に立哨し、静かにするよう促す。

(4) ふりかえり(引率者による“ふりかえり” : 研修室)

この記述問題は、いわゆる“試験問題”ではないので答えの正誤に捉われず、子供達の自由な発想やアイデア、気が付かれていることに留意し、その考えに至った背景や今後どうすべきなのか等を掘り下げながら“ふりかえり”を行います。配点の基準は引率者に任せますが、正誤問わずに10点を配点しても構いません。

SDGs 検定ラリー地図

印の場所に行って、問題を探して答えを考えよう！



約束(やくそく)

走らず、みんなで歩いて問題を探そう。

宿泊室や研修室、レストラン、体育館などには入りません。
(問題は、廊下やロビー、体育館の入り口にあります。)

洗濯・乾燥室には入ることができます。

廊下などで連れ違うときは、元気にあいさつをします。



- (1) 地図をたよりに、ポイント(●印)を探します。
- (2) ポイントを見つけたら、SDGsカードに書いている説明を読みます。
- (3) SDGsカードの『問題(Q.1~Q.26)』を読んで、みんなで答えを考えます。
- (4) みんなで考えた答えを、この解答用紙に書きます。
- (5) 地図に書いてある『約束』をみんなで確認したら、スタートしましょう。

組	班	得点	点 / 100 点
---	---	----	-----------

【Q. 1】 募金・寄附でできること 答え: 2点

【Q. 2】 食品ロス 答え: 2点

【Q. 3】 持続可能な畜産 答え: 2点

【Q. 4】 熱中症予防 答え: 2点

【Q. 5】 ラジオ体操 答え: 2点

【Q. 6】 宿泊学習のサポート 答え: 2点

【Q. 7】 ジオパーク学習 答え: 2点

【Q. 8】 男子だから、女子だから 10点

答え:

【Q. 9】 性の多様性 答え: 2点

【Q. 10】 節水 10点

答え:

【Q. 11】 草原のチカラ 答え: 2点

【Q.12】 せつでん 節電 10点

答え:

【Q.13】 しごとたいけん 仕事体験 答え: 2点

【Q.14】 ぼうさい 防災プログラム 答え: 2点

【Q.15】 だれ りよう しせつ 誰でも利用できる施設 答え: 2点

【Q.16】 バリアフリー 10点

答え:

【Q.17】 さいがいじ ひなんじよ 災害時の避難所 答え: 2点

【Q.18】 せかいのうぎょういさん 世界農業遺産 答え: 2点

【Q.19】 さいりよう 再利用 答え: 2点

【Q.20】 やがいちようり 野外調理 答え: 2点

【Q.21】 さいがいひなん 災害避難 答え: 2点

【Q.22】 やま うみ 山と海のつながり 答え: 2点

【Q.23】 ぜつめつきくしゅ 絶滅危惧種 答え: 2点

【Q.24】 グラウンドも大切に たいせつ 答え: 2点

【Q.25】 はな あ なかま 話し合える仲間 10点

答え:

【Q.26】 みんなで「チカラ」を あ 合わせよう! 答え: 2点

配点：選択問題 2点×20問(40点)、記述問題 10点×6問(60点) 計100点

【Q. 1】 募金・寄附でできること **答え： ③** 2点

【Q. 2】 食品ロス **答え： ① ② ③ すべて** 全て正解で2点

【Q. 3】 持続可能な畜産 **答え： ①** 2点

【Q. 4】 熱中症予防 **答え： ②** 2点

【Q. 5】 ラジオ体操 **答え： ③** 2点

【Q. 6】 宿泊学習のサポート **答え： ③** 2点

【Q. 7】 ジオパーク学習 **答え： ②** 2点

【Q. 8】 男子だから、女子だから 10点

(ふりかえりの例)

- 普段の生活で、子供達を感じる性差別を出しあい、それをどう考えるのか。
- 性差別にならない(しない)ために、自分達は何ができるのか。

【Q. 9】 性の多様性 **答え： ①** 2点

【Q. 10】 節水 10点

(ふりかえりの例)

- もし水が使えなくなったら、どのようなことに困るのか？
- 普段、どのような節水の取組をしているのか？
- 新たに、どんな節水の工夫ができるのか？

【Q. 11】 草原のチカラ **答え： ③** 2点

【Q. 12】 節電 10点

(ふりかえりの例)

- もし電気が使えなくなったら、どのようなことに困るのか？
- 普段、どのような節電の取組をしているのか？
- 新たに、どんな節電の工夫ができるのか？

【Q.13】 仕事体験 10点

(ふりかえりの例)

- どんな仕事につきたいのか、興味があるのか出し合う。
- “仕事をする”とはどんなイメージをもっているのか？
- 引率者自身が、“仕事でのやりがい”や“働く中での嬉しかったこと”、“なぜこの仕事をしているのか”などを話し、これからの生活につなげる。

【Q.14】 防災プログラム 答え: ③ 2点

【Q.15】 誰でも利用できる施設 答え: ③ 2点

【Q.16】 バリアフリー 10点

(ふりかえりの例)

- 地域や学校、身の回りにある“難しいな、困ったな”を出し合う。
例：横断歩道がない。点字ブロックが剥がれている。
歩道に自転車がとめられて歩けない。
- そのために、自分達ができることは何かを考えて出し合う。

【Q.17】 災害時の避難所 答え: ② 2点

【Q.18】 世界農業遺産 答え: ③ 2点

【Q.19】 再利用 答え: ② 2点

【Q.20】 野外調理 答え: ③ 2点

【Q.21】 災害避難 答え: ① 2点

【Q.22】 山と海のつながり 答え: ② 2点

【Q.23】 絶滅危惧種 答え: ② 2点

【Q.24】 グラウンドも大切に 答え: ② 2点

【Q.25】 話し合える仲間 10点

(ふりかえりの例)

- 相手が自分の話をちゃんと聞いてくれていると、自分はどんな気持ちになるのか？
- 相手に自分の意見や思いばかりを押し付けると、相手はどんな思いになるのか？
- 話を聞くときは、どんなことに気を付けたら、相手は嬉しいだろうか？ 等を考える

【Q.26】 みんなで「チカラ」を合わせよう! 答え: ③ 2点